

第3回

われは

海の子

in あまくさ

2009.8.23(日)

本渡海水浴場 ※雨天順延 (8.30)

9:00~13:00 (小雨決行)

誰でも体験できます。
事前予約は必要ありませんが、
予約も可能です。

すべて無料!
遊びにのみで!

親子で楽しめる宝さがしは
賞品があります!

🎡 **ティンギー体験**

天草ヨットクラブ

🎡 **水上バイク・バナナボート体験**

ブロンコバスターズ ウィズ フェアリーフィン

🎡 **海辺の宝さがし**

天草パークボランティア連絡会/NPO法人美しい天草づくりネットワーク

🎡 **ウィンドサーフィン体験**

天草フリート

🎡 **シーカヤック体験**

天草カヌー協会

**ボランティア
スタッフ
募集!!**

8.23 8:00~12:30

中学生・高校生・大人...30人

※昼食+日当(¥1,000)あり

★希望者はお電話ください。

当日現地集合

主催 **あまくさマリネットワーク**

お問い合わせ 第3回われは海の子実行委員会事務局

TEL 090-8418-1866(亀子) FAX 0969-23-0016

この事業は、日本財団の
助成金を一部使用して
おります。

後援 天草市教育委員会・天草市こども会・天草PTA連合会・熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・RKK・KAB・TKU・KKT・ACN(予定)

協賛 天草信用金庫・南九州コカ・コーラボトリング(株)・天草市青少年市民育成会議

協力 JF天草・天草宝島観光協会・日本財団

天草信用金庫

南九州コカ・コーラボトリング(株)

第3回われは海の子 in あまくさ

2009年8月23日(日)

本渡海水浴場周辺海域に於いて

実施報告書

主催：あまくさマリンネットワーク

平成21年9月25日

ご支援、ご協賛団体関係者 各位

あまくさマリネットワー
会 長 木下 哲男

、 事業実施報告書のお届けと御礼

浜辺から子供たちの声が聞こえなくなり、朝夕はめっきり秋らしくなってきました。

「第3回われは海の子 in あまくさ」開催に当たりましては、大変お世話様になりました。衷心より御礼申し上げます。

皆様のご支援・ご協力・ご助成のお陰で第3回も成功裏に終了できました。

次年度も『第4回われは海の子 in あまくさ』を開催する予定でおります。次年度もご支援・ご協力・ご助成くださいますようお願い申し上げます。

まずは、御礼ならびに実績のご報告を申し上げます。ご活用いただければ幸いです。

時節柄どうぞご自愛の程、念じ上げます。

草々

団体名	代表者
天草パークボランティア連絡会	会 長 岡田壮之祐
NPO法人美しい天草づくりネットワーク	理事長 明瀬 実
ブロンコパスターズウイズフェアリーフィン	会 長 江崎博文
天 草 フ リ ー ト	会 長 森下五夫
天 草 カ ヌ ー 協 会	会 長 亀子研二
(五和シーカヤッククラブ	会 長 田端敏明)
天 草 ヨ ッ ト ク ラ ブ	会 長 木下哲男

「第3回われは海の子」実施報告書

2009. 9. 25. 事務局作成

主催：あまくさマリネットワーク

方法：実行委員会方式

期日：2009年8月23日(日) 09:00~13:00 (満潮09:36)

受付開始8:30(事前予約&当日申し込み併用方式)

場所：熊本県天草市本渡海水浴場(茂木根海岸一帯)

総事業費：420,000円(日本財団助成金300,000円、自己負担85,000円)

企業協賛金35,000円)

構成団体：天草ヨットクラブ、ブロンコバスターズウイズフェアリーフィン(※上バイク)

天草パークボランティア協議会、NPO法人美しい天草づくりネットワーク

天草フリート(ウインドサーフィン)、天草カヌー協会(五和シーカヤッククラブ)

協賛企業：天草信用金庫、南九州コカ・コーラボトリング株式会社

体験参加者数(名簿別紙 個人情報記載のため関係機関のみ配布)

ヨット(ディンギー) 42人(40人)

ウインドサーフィン 10人(7人)

水上バイク 48人(53人)

シーカヤック 75人(56人)

縄文丸木舟 本年実施せず(14人)

クルーザー 本年実施せず(6人、午後の天草ヨットクラブの別メニュー)

浜辺の宝探し 120人(200人)

T T L 295人(376人)・・・()は第2回の参加者数

*新型インフルエンザの影響で参加者が前年より若干減少した。

スタッフ&ボランティア数

スタッフ 41人(チラシ記載の6団体)・・・前回は43人

ボランティア 21人(天草中生徒・主婦・看護師等)・・・前回は29人

T T L 62人・・・前回は72人

海洋スポーツ体験参加者(175人)の内訳

天草市102人・上天草市13人・苓北町15人

熊本市周辺22人・福岡県9人・大分県2人・関西地方10人・北海道2人

合計175人・・・福岡、大分、関西、北海道は里帰り組みと思われる。

天草島内在住者74%・島外在住者26%

宝探しゲームについては名簿を作らず飛び入り参加方式としたため、在住地域の分析はしていない(賞品数でカウントした)。

告知方法・メディア露出

熊本日日新聞社（お出かけ情報掲載）
熊本日日新聞社（販売店9月カレンダー掲載）
天草市役所内記者クラブ（18社）に事前情報提供
ネット情報としては以下の通り発信協力あり（7団体）
セーリングネットワーク・天草PTA連合会・天草地域子育てネットワーク
環境省九州環境パートナーシップオフィス・あまくさ歴史文化NOW・
天草Webの駅・天草宝島観光協会
チラシ 1,000枚を関係機関に郵送、手渡し配布1,000枚（配布先学校等
約100箇所、空港、各港、市民センター等公共施設に設置・
広報車・・・本年は使用せず。

行事内容の放送および記事掲載

NHK 放送あり
KAB/TKU 放送あり
熊本日日新聞 朝刊南版掲載あり
熊日販売店9月カレンダー 記事掲載あり
天草ケーブルテレビ 放送あり

天 候 晴 大

事故・病人

主催行事での事故はなし。
水泳中にとがった石で足の裏を少し切った子どもが1名、
医師（永野）と看護師（永野）がボランティアとして参加しており
対処。くらげによる被害もなし。

プログラム以外の行事

前回は、天草中央消防署の救急人命救助訓練・三角海上保安部の広報活動（広報グッズ配布、模型船キット配布）・ドコモの広報活動（広報グッズ・水ヨーヨー配布）・波 動 船（天草の発明王『倉地氏』任意参加・手づくりシーカヤック・ボートの展示（永野博人氏グループ製作の木製作品展示）等を行ったが、スタッフの労力を配慮して本年度はシンプルに海上スポーツと浜辺の環境学習に専念した行事運営とした。

課 題

1. ファンド（軍資金）不足。新しい助成団体の獲得と、連携。
2. 物品搬入、搬出用トラックの確保（2トン車 or 4トン車）
3. 事前告知の手法再検討。告知不足。
4. プログラム内容の見直し。海洋スポーツ団体の補充とメニューの補強。
5. 事業実施日の調整（去年は7/20海の日に実施）、潮との関係もある。
6. 開催日時の発表を早めにする。新学期にはPTA・子ども会、学校行事等総会等時に検討するため。
7. 島内の3教育委員会との海洋教育（学校・社会）に関する共通理解と連携を強化すること。

反省事項

海の大切さ（環境改善）、海のスポーツの楽しさ、海と浜辺と人との関わり、海洋産業を知ってもらうための野外教育としては成功であったが、事務局の体制を含めいくつかの改善点が指摘された。

1. 受付と現場の人員確認と連絡体制のシステムの再検討が必要。昨年同様現場で多少の混乱はあったが、パークボランティアの協力ですまく運んだ。
慣れていないスタッフでもこなせるように、当日のミーティング時にボランティアにプログラム内容と受付マニュアル等は各人に配付して内容を把握させておくことが必要である。
2. 各団体のインストラクター、スタッフの参加人員を早めにつかみ、ボランティアとの円滑な運営体制をつくること（浜辺および海上のため携帯電話が使えない場面があった）。
3. 事務局体制の強化。専属の職員を配置せず実施しているが些か無理がある。要改善。

今回の利点

1. 「天草パークボランティア協会」と[NPO美しい天草づくり]の2団体が参加してくれたおかげで、受付業務・本部と洋上現場との連携がうまく出来た。また、浜辺の宝探しもうまくいった。
この2団体が、生徒・一般人ボランティアをうまく動かしてくれた。
2. 金銭的には出費が高んだが、生徒がいることで会場の雰囲気華やいだ。
3. 本渡商工会議所の好意でテント、机、椅子を無料借用できた。その機材を2日前にシルバー人材センターを活用し事前保管しておいたおかげで、事前の準備が楽であった。返納もシルバー人材セ

ンターを活用した。

4/4 ページ

4. 前日に備品を会場へ搬入し、ヨットクラブ・パークボランティア等13名でテント設営しておいたお陰で、当日の準備が楽であった。撤収作業は各団体の人海戦術で40分間で終了。
5. 観光協会を会議場所としたため、会議室使用料が削減できた。
6. スポーツ6団体と環境2団体との連携で効率的な運営が出来た。単なる海の祭典に終わらず海の環境保全・改善の大切さ、海での安全な過ごし方・海洋スポーツの楽しさ・海洋産業重要性等教育効果を高めることが出来た。
7. 日本財団の助成金、企業協賛金等があり資金面での苦勞が少なく、事業に専念できた。

今後の方向性

1. 海洋教育（スポーツ、環境、産業）の更なる啓発活動の継続
2. 健全な子どもの育成活動の推進
3. 海洋観光素材としてのツーリズムの支援と産業振興の協力
4. 浜辺のバリアフリー化の啓発活動
5. 浜辺、海の活用による地域振興の支援、協力
6. 全島を網羅した「あまくさマリネットワーク」の構築により、活力のある新しい天草づくりの推進

実施状況写真集、DVD

写真集は記録保存用2冊作成、DVDは10本作成。

以上